

帰省して65期仲間との3連続会合に

山岸敏夫（11組、大阪市在住）

大阪に居を構えて40年になる。一方、ふるさとの真田の居宅は近接の畑を含め随分前に処分していたので上田に帰るというより私にとっては訪れるということとなる。その機会は8月23日の11組の同級会ということになるが、それに乗じて長い間会えていない他クラスを交えた旧友との歓談をと思い関係者にお願いしたところ快く設営受け入れてくれた。

8月21日（月）夕、65期でクラスはバラバラであるが、地元で活躍をしている同期で毎月開かれている飲み会（「六五会」）に割り込ませていただいた。顔を合わせたことはあるが声をかけたことがなかった諸氏とも気楽に歓談でき楽しい会であった。参加者は8名で一人一人の話に傾注できた会であったが、以前はもっと大勢集まったとのことである。また会話の流れで、当日私も含め上田の梅花幼稚園の同窓が計4名いることが分かり一同「ホー」。（私は小学1年まで上田市内居住）



「六五会」香青軒にて、前列左から丸山幸雄、山岸、島田甲子雄、上原昇（帰省中）、
後列左から布施修一郎、吉田一雄、若林健、柳沢英明

翌 22 日（火）は昼からの会合であったので、午前は無言館に出かけたがなんと休館。仕方なく近くの前山寺境内を散策した。無言館からの歩きと散策で心地よい風が時々吹いていたにも関わらず汗だくとなった。しかし大阪よりはずっと涼風。

昼からの会合は高校グリークラブ同期 5 人〔工藤良一（1 組）、松本勉（2 組）、青木潤一、松木（中澤） 富美雄、山岸（いずれも 11 組）〕に加え、同学年の染谷女声合唱団のメンバー 4 人の計 9 人。染谷は東信地区の合唱コンクールの優勝校で我々は 2 位であった。彼女らは 3 年時、染谷の音楽教師あった岩森氏（故人）の下宿に集まり雑談した仲間。先生も恐らく若き男子高校生の考えや行動を知りたかったのだろう。卒業後も海水浴にも出かけた。社会人になってからは上田に行った折に彼女らとの会合を何度か持った。今回は 10 年ぶり、久々の再会となり近況報告や昔の思い出であったという間に時間は過ぎた。が、当然名残惜しくカラオケに移動し夕 5 時頃またやろうと固い約束をして解散した。



グリークラブ同期会、男：右手前から工藤、青木、松本、松木（中澤）
左は山岸、女性 4 人のうち一人は山岸の後ろで見えていない

23 日（水）の 11 組クラス会の出席メンバーは、概ね常連で固定してしまった。
こちらの内容は別途、幹事から投稿されるので省略します。

（2023 年 8 月 24 日記）

以上